

東日本大震災復興関連事業チェックシート
(平成23年度第3次補正予算)

(内閣官房)

事業名	クールジャパンによる日本ブランド復興キャンペーン		担当部局庁	知的財産戦略推進事務局		作成責任者	-			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	-		茂島 専				
会計区分	一般会計		施策名	クールジャパンによる日本ブランド復興キャンペーン						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	知的財産推進計画2011、「東日本大震災からの復興の基本方針」、「復興への提言」						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本再生に関する外国の理解を増進し、日本ブランドを再構築し、日本製品の信頼性回復・向上を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	クールジャパンによる日本ブランドの復興キャンペーンを実施。 具体的には、著名な国内イベントにおける情報発信により、訪日外国人、海外メディア等にクールジャパンの浸透を図る。									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
23年度予算額 (単位：百万円)	当初		第1次補正		第2次補正		第3次補正		計	
	-		-		1,072		101		1,173	
成果目標 (アウトカム)	成果指標	単位	目標値		活動指標 (アウトプット) ※上段()書きは予算措置の累積に係る見込み	活動指標	単位	23年度活動見込		
			23年度	(年度)				人	()	
	本事業は、訪日外国人等へのクールジャパン浸透を図ることを目的としており、定量的な成果目標を定めることが困難である。	-	-	-		海外からの来場者約13,000人に対しクールジャパンを発信	人	()	()	
単位当たりコスト	7,769(円/人*) * 来場者数の約半分は、派生効果がある海外メディア、バイヤー。				算出根拠	・訪日外国人、海外メディア、バイヤーの来場がより多く見込める著名な国内イベントの過去の来場者数を基に算出。				
事業所管部局による点検										
項目					内容					
「復興への提言」及び「東日本大震災からの復興の基本方針」で示された諸原則や施策の考え方の整合性がとられているか。					本事業は、「東日本大震災からの復興の基本方針」及び「復興への提言」に基づくものであり、諸原則や施策の考え方と整合的。					
被災地のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。					本事業は、震災により損なわれた日本ブランドを再構築し、日本製品の信頼性回復・向上を図るものであり、被災地の経済回復の観点からも優先度が高い。					
効果的な事業であるか(より高い効果をあげる手法の選択、類似事業等との役割分担、客観的な将来見通しなど)。					調達手続を行う際、効果的な事業となるような企画を選考する。					
費用対効果や効率性の検証が行われたか。					費用対効果や効率性の観点から、訪日外国人や海外メディアの来場がより多く見込める国内イベントについて、過去の来場者数等の実績を基に検証を行った。					
国、自治体、事業実施者、民間等の役割分担などのあり方は明確か。					本事業は直接実施である。					
他の事業と整合的で、計画的に実施されるものとなっているか。					調達手続を行う際、他の事業と整合的・計画的なものとなるようにする。					
事業の迅速な着手・執行が可能であるか。事業の執行などの透明性が確保され、進行管理が適切に行われるようになっているか。					速やかに調達手続を行い、迅速に執行する。その際、透明性が確保され、進行管理が適切に行われるようにする。					

注1. 「活動指標(アウトプット)」欄の「活動見込」については、23年度第3次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算(第2次補正予算を含む。以下同じ)若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で累積の見込みを記入すること。

注2. 「単位当たりコスト」欄については、23年度第3次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で「(23年度1次補正 × ×円/)」などと記入すること。

注3. 「内容」欄には、すべての点検項目毎に点検の結果及び方法、これらの客観的な根拠について具体的に記入すること。